

総務大臣 松本 剛明 殿

木曽広域連合
連合長 原 久仁男

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和4年 3月17日
- (2) サービス開始日 : 令和3年10月 1日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目標 (目標年度)	(実績値/目標値)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
Wi-Fi AP の設置数 (木曽町開田地区)	98 個 (令和6年度)	213/98	238/98	-/98
Wi-Fi AP の設置数 (木曽町三岳地区)	111 個 (令和6年度)	184/111	208/111	-/111

(参考)

提供可能回線数	利用回線数		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1, 790回線	503回線	533回線	

3. 目標達成に向けて実施した取組

広報誌「きそネット」(各戸配布の木曽広域連合広報誌)によるFTTH網利用に関する広報を令和4年度以降随時実施した。

4. 評価

家庭用Wi-Fiの設置について

FTTH事業広報などの取組を実施した結果、家庭用Wi-Fiの設置数の目標については、インターネット加入世帯の70%設置にて試算した、
木曽町開田地区：98世帯(個)、木曽町三岳地区：111世帯(個)
の目標値に対して、令和5年度末の実績値として
木曽町開田地区：238世帯(個)、木曽町三岳地区：208世帯(個)
となり、インターネット加入世帯の83.7%設置ができ、目標値を上回った。

利用回線数について

533回線で利用回線数比は約30%であるが、主な要因は、高齢者世帯にサービスの必要性を伝え切れていなかったことが要因と考え、個別訪問や同世代の活用例等を周知など加入に向けた取り組みを行うことで、今後は利用率の上昇が見込めると考えている。

5. 課題への対応策(中間評価のみ)

高齢者を中心としたインターネット未利用世帯に対して、広報誌(きそネット)や別途計画中のDX推進事業を通じてインターネット利用の利便性に関する啓蒙活動を行いながら、インターネット利用者全体の底上げと家庭用Wi-Fiアクセスポイント設置数増加に向けた取り組みを進める。

利用回線数の獲得については、高齢世帯に対して個別訪問や同世代の活用例等を周知など加入に向けた取り組みを実施し、上記PRと共に「インターネットのみ加入」メニューの追加(現在、インターネットはケーブルテレビのオプションサービスとなっている)について検討を行い、インターネットの加入促進を図る。